

**Topic 01 佐渡の魅力を、次のステージへ**

「佐渡の魅力を世界に届けたいんです。」

そう語るのは、SUN株式会社の社長・仲宗根俊平さん。佐渡を拠点に、海外の人々に向けて日本の魅力を発信する事業を展開しています。ZOOMの背景には、バン格拉ディシュの社員と一緒に撮影した写真が映し出されており、国境を越えたつながりを感じさせます。

**Topic 02 「佐渡から世界へ」挑戦が始まった**

仲宗根さんは大学を卒業したあと、海外での生活や国際的なビジネスの経験を経て、2018年にSUN株式会社を立ち上げました。

当時、日本を訪れる外国人観光客は増えていましたが、その多くが大都市に集中していて、地方との格差が広がっていると感じたそうです。

「日本には素敵な文化や自然がたくさんあるのに、それを海外にきちんと伝える仕組みがまだ足りない。もっと分かりやすく、多言語で情報を発信すれば、日本に興味を持つ人がもっと増えるはずだ」と思い、ANABA JAPANというインバウンド向けのメディアサイトを始めました」

現在は、SNSや動画、Webサイトを使って、外国人向けに佐渡の観光や生活の情報を中心に発信しています。佐渡の美しい自然や独自の文化をもっと多くの人に知ってもらいたいと、現地の企業とも協力しながら、「佐渡から世界へ」を合言葉に活動を広げています。

**Topic 03 佐渡に拠点を置く意味**

「佐渡は東京や大阪と比べると小さな島ですが、だからこそ地域の魅力がぎゅっと詰まっています。伝統文化や自然、食の豊かさ、人の温かさなど、外国人にとっても新鮮で魅力的なコンテンツが多いんです。」

仲宗根さんは、佐渡の地域資源を活かした情報発信にも力を入れています。佐渡に住む人をスタッフとして雇い、島の中を取材・撮影しながら、地元ならではのリアルな目線で佐渡の魅力を発信しています。

**Topic 04 仕事のやりがいと大切にしていること**

国や文化の異なる人々と関わるため、伝え方や価値観の違いに悩むこともあるといいます。それでも仲宗根さんは、「相手の立場に立って考え、丁寧にコミュニケーションを重ねること」が何より大切だと語ります。

「言葉や習慣が違って、人と人として信頼を築ければ一緒に面白いことができる。そこにやりがいがあります。」

**Topic 05 これから挑戦したいこと**

今後は、佐渡に留学や就職で訪れる外国人が安心して暮らせるよう、佐渡で日本語教育をサポートしながら、多文化交流の拠点づくりにも挑戦したいと考えているそうです。

「情報を届けるだけでなく、人が実際に来て、暮らし、学び、働ける環境を整えることが目標です。」

**Topic 06 高校生へメッセージ**

「世界は思っているよりずっと広くて、でも意外と近いです。佐渡にいても世界とつながる仕事はできますし、皆さんにも無限の可能性が広がります。言葉や文化の壁を怖がらず、まずは一歩踏み出してみてください。失敗しても大丈夫、それも経験ですから。」



投票は公式LINEから



SUN（株）のHP

